

みずほCustomer Desk Report 2018/04/20 号 (As of 2018/04/19)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.49
TKY 9:00AM	107.35	1.2379	132.91	1.4201	0.7788
SYD-NY High	107.52	1.2400	133.09	1.4248	0.7813
SYD-NY Low	107.19	1.2329	132.36	1.4069	0.7720
NY 5:00 PM	107.36	1.2345	132.55	1.4085	0.7729
NY DOW	24,664.89	▲ 83.18	日本2年債	-0.1400	1.00bp
NASDAQ	7,238.06	▲ 57.18	日本10年債	0.0400	1.00bp
S&P	2,693.13	▲ 15.51	米国2年債	2.4296	0.02bp
日経平均	22,191.18	32.98	米国5年債	2.7558	2.40bp
TOPIX	1,750.18	0.51	米国10年債	2.9126	3.89bp
シカゴ日経先物	22,160	▲ 15.00	独10年債	0.5950	6.55bp
ロンドンFT	7,328.92	11.58	英10年債	1.5145	10.00bp
DAX	12,567.42	▲ 23.41	豪10年債	2.7920	5.75bp
ハンセン指数	30,708.44	424.19	USDJPY 1M Vol	6.45	▲0.15%
上海総合	3,117.38	25.98	USDJPY 3M Vol	7.15	▲0.05%
NY金	1,348.80	▲4.70	USDJPY 6M Vol	7.70	0.06%
WTI	68.33	▲0.14	USDJPY 1M 25RR	-0.79	Yen Call Over
CRB指数	201.86	▲1.11	EURJPY 3M Vol	7.35	▲0.03%
ドルインデックス	89.94	0.32	EURJPY 6M Vol	7.90	▲0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月19日	10:30	豪 雇用者数変化	3月 4.9k	20.0k
	10:30	豪 失業率	3月 5.5%	5.5%
	21:00	米 プレイナードECB理事 講演	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	232k
	22:30	米 クオールズFRB副議長 講演「米長短金利差縮小、リセッションの兆候ではない」	-	230k
4月20日	07:45	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演「今年と来年にさらなる利上げが適切」	-	-

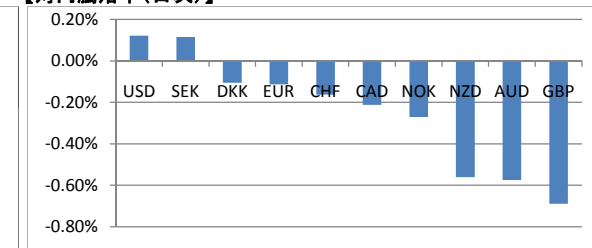
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月20日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI	3月 1.1%/0.9%/0.5%	1.5%/1.0%/0.5%
	15:00	独 PPI(前年比/前月比)	3月 2.0%/0.2%	1.8%/-0.1%
	18:30	英 サンダースBOE委員 講演	-	-
	21:30	加 小売売上高(前月比)	2月 0.4%	0.3%
	21:30	加 CPI(前年比)	3月 2.4%	2.2%
	22:40	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.70-107.70	1.2300-1.2400	132.30-133.30

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は107円台前半から半ばにかけてのもみ合い推移。米金利の上昇がドル相場をサポートする材料とはなったものの、「タルバート米財務次官補が米財務省が中国に対する緊急権限法の適用を検討していることを明らかにした」との報道等が材料視され上値も限定的となった。本日のドル円相場は引き続き方向感に乏しい推移を予想。昨日は米金利が上昇する展開となるもドル円の反応は限定的。リスクセンチメントは改善しつつあるものの、米金利上昇が株式市場に与えるネガティブな影響やトランプ政権に対する警戒感が拭いきれない中では力強い上昇にはつながらないと考えている。

東京	オセアニア時間、107.20付近で推移していたドル円は日米首脳記者会見で目立った材料が出なかったことから警戒感が和らいだことで底堅く推移し、107.36まで上昇。東京時間、107.35レベルで取引を開始したドル円はトランプ米大統領が通商問題で強硬姿勢を示さなかった安心感からリスクオフの展開となり、日経平均株価が上昇する中、ドル円も高値107.52まで続伸。その後はさらに上値を試す展開とはならず、107.36まで反落し、107.42レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、107.42レベルでオープン。狭いレンジの中で方向感はなく、107.35レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.4195レベルでオープン。3月の英小売売上高は予想を下回る結果となり1.4161まで下落するも、武田薬品によるシャイア買収表明を受け、ポンドは上昇に転じ、1.4236レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	日米首脳会談が波乱なく終了したことを受け、ドル円は底堅く推移し、107.35レベルでNYオープン。NY午前には発表された米経済指標はほぼ予想通りの内容となったことから相場の反応は限定的となり、NY序盤のドル円は107.35-40付近での膠着状態が続いた。その後、今年2月以来の2.90%台に乗せた米長期金利を横目に107.47まで上昇したが、カーニー英中銀総裁がメディアインタビューで、来月の利上げは既定路線ではないと示唆したことを受けポンド全面安の展開となり、ポンド円急落に連れ安となり、ドル円も107.23まで下落。しかし大幅安となっていた米株が反発したことや「ローゼンスタイン米司法副長官がトランプ氏にモラー特別検査官の捜査対象外と告げた」とのヘッドラインが流れると107.50まで反発。その後、「タルバート米財務次官補が米財務省が中国に対する緊急権限法の適用を検討していることを明らかにした」との報道を受け、再び米中関係やトランプ政権の保護主義が意識され、107.32まで反落し、107.36レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.2381レベルでNYオープン後、米金利上昇を背景とするドル買いの強まりに安値1.2329まで下落。その後ポンド全面安の展開にユーロポンドが上昇する動きに連れて1.2358まで上昇。終盤はレンジ内で小動きに終始し、1.2345レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・田家